

事業所名

ジャンティークアリス（児童発達支援）

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

2月

10日

法人（事業所）理念		誠：ご利用者様、ご家族の皆様や地域の方々に誠の心を以て接し、地域社会に貢献できる福祉事業を展開していきます。						
支援方針		自然や人とのふれあいの中で遊びや生活を豊かに体験し、一人ひとりの中にある発達の可能性を十分発揮できるよう、そして次のステージに進めるよう、ご家族と共にお子様の成長をサポートいたします。看護師を配置して医療的ケアが必要な方の受け入れを行っています。						
営業時間		8時	20分	17時	20分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支援内容						
本人支援	健康・生活	○日常の様子の観察やバイタルチェックを行いながら健康状態の把握に努め、健康の維持・向上を図れるよう支援を行います。意思表示が困難な子どもの障害特性や発達の過程にも配慮し、小さなサインから変化に気付けるよう観察を行います。また、食事や排泄、睡眠などの基本的な生活リズムを整えることができるよう支援を行います。						
	運動・感覚	○日常生活に必要な姿勢保持、上肢・下肢の動作の改善および習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図れるよう支援を行います。また、身体移動や歩行、車いすを使用した移動など、子どもの特性や発達段階に応じた支援を行います。						
	認知・行動	○視覚支援を取り入れながら物事や言葉の理解を深められるよう支援を行います。また、絵本の読み聞かせや製作活動を通して季節を感じながら、活動や遊びの中で様々な道具や素材に触れることで感覚を養うことができるよう支援します。						
	言語 コミュニケーション	○様々な活動や遊びを経験する中で言葉に触れる機会を増やし、他者とのコミュニケーションを楽しめるよう支援を行います。また、それぞれの児童の特性を考慮したコミュニケーションの方法を提案し実践しながらコミュニケーション能力の向上を図ります。 ○挨拶や簡単な会話を重ねることで社会の中で生活するためのスキルの獲得と向上を目指します。						
	人間関係 社会性	○多職種の支援者と継続的に関わりながらたくさんふれあい、声かけをしていくことで信頼関係の構築を図れるように支援を行います。小集団での活動の中で他者と同じ体験を共有し、それぞれの児童の発達段階に合った介入を行い成長発達を促していきます。						
家族支援		○連絡帳による情報共有、お迎えや面談などを通して個々の家庭の状況や困りごとについて保護者と日々情報交換を行いながら、相談や支援に対応できるよう努めています。 ○家族のレスパイトケアや就労などによる預かりニーズにも相談に応じながら対応していきます。			移行支援		○併行通園先の保育園や幼稚園などの連絡会を通して、活動の様子や支援内容の情報共有を行います。また、移行時には移行支援シートの活用や連絡会を通して情報共有ができるよう支援を行います。	
地域支援・地域連携		○施設内他事業所との交流や情報交換を行っています。 ○保護者の協力を得ながら各関係機関との連携を強化し、ライフステージに応じた切れ目のない支援を行います。			職員の質の向上		○法人内研修や外部研修に積極的に参加し、職員の資質の向上と必要な資格の取得に努めています。 ○各種委員会を開催しています。 （リスク、感染予防、虐待防止、給食、研修） ○ケース会議・事例検討会を通して支援の質の向上・支援の統一性を図ります。 ○作業療法士による指導及び助言。	
主な行事等		○季節の行事（ひな祭り、クリスマス、節分など） ○近隣の公園や施設への外出						

事業所名

ジャンティユーアリス (放課後等デイサービス)

支援プログラム (参考様式)

作成日

令和7年

2月

10日

法人(事業所)理念		誠：ご利用者様、ご家族の皆様や地域の方々に誠の心を以て接し、地域社会に貢献できる福祉事業を展開していきます。						
支援方針		自然や人とのふれあいの中で遊びや生活を豊かに体験し、一人ひとりの中にある発達の可能性を十分発揮できるよう、そして次のステージに進めるよう、ご家族と共にお子様の成長をサポートいたします。看護師を配置して医療的ケアが必要な方の受け入れを行っています。						
営業時間		8時	20分	17時	20分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	○日常の様子の観察やバイタルチェックを行いながら健康状態の把握に努め、健康の維持・向上を図れるよう支援を行います。意思表示が困難な子どもの障害特性や発達の過程にも配慮し、小さなサインから変化に気付けるよう観察を行います。また、食事や排泄、睡眠などの基本的な生活リズムを整えることができるよう支援を行います。						
	運動・感覚	○日常生活に必要な姿勢保持、上肢・下肢の動作の改善および習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図れるよう支援を行います。また、身体移動や歩行、車いすを使用した移動など、子どもの特性や発達段階に応じた支援を行います。						
	認知・行動	○視覚支援を取り入れながら物事や言葉の理解を深められるよう支援を行います。また、絵本の読み聞かせや製作活動を通して季節を感じながら、活動や遊びの中で様々な道具や素材に触れることで感覚を養うことができるよう支援します。						
	言語 コミュニケーション	○様々な活動や遊びを経験する中で言葉に触れる機会を増やし、他者とのコミュニケーションを楽しめるよう支援を行います。また、それぞれの児童の特性を考慮したコミュニケーションの方法を提案し実践しながらコミュニケーション能力の向上を図ります。 ○挨拶や簡単な会話を重ねることで社会の中で生活するためのスキルの獲得と向上を目指します。						
	人間関係 社会性	○多職種の支援者と継続的に関わりながらたくさんふれあい、声かけをしていくことで信頼関係の構築を図れるように支援を行います。小集団での活動の中で他者と同じ体験を共有し、それぞれの児童の発達段階に合った介入を行い成長発達を促していきます。						
家族支援		○連絡帳による情報共有、お迎えや面談などを通して個々の家庭の状況や困りごとについて保護者と日々情報交換を行いながら、相談や支援に対応できるよう努めています。 ○家族のレスパイトケアや就労などによる預かりニーズにも相談に応じながら対応していきます。			移行支援		○学校や併行利用先の事業所などの連絡会を通して、活動の様子や支援内容の情報共有を行います。また、移行時には移行支援シートの活用や連絡会を通して情報共有ができるよう支援を行います。	
地域支援・地域連携		○施設内他事業所との交流や情報交換を行っています。 ○保護者の協力を得ながら各関係機関との連携を強化し、ライフステージに応じた切れ目のない支援を行います。 ○学校などと情報共有を行い、必要に応じて訪問・助言を行っています。			職員の質の向上		○法人内研修や外部研修に積極的に参加し、職員の資質の向上と必要な資格の取得に努めています。 ○各種委員会を開催しています。 (リスク、感染予防、虐待防止、給食、研修) ○ケース会議・事例検討会を通して支援の質の向上・支援の統一性を図ります。 ○作業療法士による指導及び助言。	
主な行事等		○季節の行事(ひな祭り、クリスマス、節分など) ○近隣の公園や施設への外出						